

## 1. 略歴

|           |                                                            |
|-----------|------------------------------------------------------------|
| 1985 年4月  | 大阪大学文学部入学                                                  |
| 1989 年3月  | 大阪大学文学部哲学科インド哲学専攻卒業                                        |
| 1989 年4月  | 大阪大学大学院文学研究科哲学哲学史専攻博士前期課程入学                                |
| 1991 年3月  | 大阪大学大学院文学研究科哲学哲学史専攻博士前期課程修了                                |
| 1991 年4月  | 大阪大学大学院文学研究科哲学哲学史専攻博士後期課程進学                                |
| 1996 年3月  | 大阪大学大学院文学研究科哲学哲学史専攻博士後期課程単位取得退学                            |
| 1996 年9月  | 米国ハーヴァード大学大学院留学（～2002 年3 月）                                |
| 2000 年9月  | Teaching Fellow (Sanskrit), Harvard University（～2001 年6 月） |
| 2002 年6月  | 博士 (Ph.D.) 学位取得（ハーヴァード大学）                                  |
| 2009 年10月 | 京都大学人文科学研究所助教                                              |
| 2012 年4 月 | 東京大学大学院人文社会系研究科准教授                                         |

## 2. 主な研究活動

### a 主要業績

#### (1) 論文

1991. 「Bodhicaryāvatāra の基本性格— 一人称の意味するもの—」, 『待兼山論叢』第 25 号, 哲学篇, 大阪大学, 1991 年, 25-38 頁.
1992. “On the *Parīṣāmanā* Chapter of the Bodhicaryāvatāra”, 『印度學佛教學研究』第 40 卷第 2 号, 日本印度学仏教学会, 1992 年, 25-28 頁.
1993. 「古代インドの入門式— upanayana —」『宗教研究』66-4 (295), 1993 年, 249-251 頁.
1995. “The *brahmacārīn* in the Atharvaveda”, 『印度學佛教學研究』第 43 卷第 2 号, 日本印度学仏教学会, 1995 年, 1-6 頁.
- 2003a. 「ヴェーダ入門儀礼の二つの相— 通過儀礼と学習儀礼—」, 『佛教学セミナー』第 78 号, 佛學會, 2003 年, 1-20 頁.
- 2003b. 「入門式 (Upanayana) と再入門式」, 『印度學佛教學研究』第 52 卷第 1 号, 日本印度学仏教学会, 2003 年, 22-24 頁.
2004. “The Upanayana and Marriage in the Atharvaveda”, *The Vedas: Texts, Language & Ritual. Proceedings of the Third International Vedic Workshop*, ed. by A. Griffiths and J. E. M. Houben, Groningen, 2004, pp. 417-431.
2005. 「ヴェーダ学習と誓戒」, 『小林圓照博士古稀記念論集 佛教の思想と文化の諸相』(『禅学研究』特別号), 禅学研究会, 2005 年, 161-175 頁.
2009. “On the Gr̥hyasūtra of the Vādhūla School”, *Journal of Indological Studies*, Nos. 20/21, 2009, pp. 25-42.
2011. “The ‘gr̥hya’ Formulas in Paippalāda-Saṃhitā 20”, *ZINBUN. Annals of Research in Humanities, Kyoto University*, No. 42, 2011, pp. 39-62.
2012. 「カリフォルニア州教科書の古代インド史記述をめぐる論争と訴訟—二十一世紀初頭アメリカにおけるヒンドゥー至上主義の一断面—」『現代インド研究』第 2 号, 2012 年, 101-130 頁.
2013. 「聖なる<ことば>の伝承—古代インドのヴェーダ学生をめぐる—」『東京大学文学部次世代人文学開発センター研究紀要 文化交流研究』第 26 号, 2013 年, 47-61 頁.

#### (2) 学会発表

1991. 「Bodhicaryāvatāra と受戒儀礼」, 日本印度学仏教学会第 42 回学術大会, 仏教大学, 1991 年 7 月 21 日.
1992. 「古代インドの入門式— upanayana —」, 日本宗教学会第 51 回学術大会, 淑徳短期大学, 1992 年 9 月 14 日.
1994. 「Atharvaveda の brahmacārīn」, 日本印度学仏教学会第 45 回学術大会, 武蔵野女子大学, 1994 年 5 月 21 日.
1999. “Brahmacārīn Formulas in Paippalāda-Saṃhitā 20”, 第 2 回国際ヴェーダ学ワークショップ, 京都大学,

- 1999年10月31日.
2002. “The *upanayana* and marriage in the Atharvaveda”, 第3回国際ヴェーダ学ワークショップ, ライデン大学, 2002年6月2日.
2003. “The ‘Repeated Upanayana’”, 第12回国際サンスクリット学会, ヘルシンキ大学, 2003年7月15日.
2003. 「入門式 (Upanayana) と再入門式」, 日本印度学仏教学会第54回学術大会, 仏教大学, 2003年9月6日.
2005. 「Godāna 儀礼と vedavrata」, 日本印度学仏教学会第56回学術大会, 四天王寺国際仏教大学, 2005年7月29日.
2007. 「Vādhūla-Gr̥hyasūtra について」, インド思想史学会第14回学術大会, 京大会館, 2007年12月22日.
2009. “On the Vādhūla-Gr̥hyasūtra”, 第14回国際サンスクリット学会, 京都大学, 2009年9月4日.
2012. “The Initiation Ritual (*upanayana*) in the Vedic Texts and Beyond.” 国際シンポジウム *Consecration, Initiation, and Coronation Rituals in Ancient and Medieval India*. 京都大学, 2012年12月23日.

### (3) 研究報告

2003. 「ヴェーダ学生 (*brahmacārīn*) 研究から見たアタルヴァヴェーダの構成とヴェーダ文献史に占める位置」, 共同研究「後期ヴェーダの言語と宗教」, 京都大学人文科学研究所, 2003年6月6日.
2009. 「ケララ州におけるヴァドゥーラ学派の現況 (2009年2月) — 二大師匠家のひとつ「ネドゥムピリ家」を中心に —」, 共同研究「王権と儀礼」, 京都大学人文科学研究所, 2009年6月12日 (藤井正人, 手嶋英貴との共同報告).
2010. 「カリフォルニア州教科書の古代インド史記述をめぐる論争と訴訟」, 現代インド地域研究京大拠点第2回グローバル・インド研究会, 京都大学人文科学研究所, 2010年9月30日.

## 3. 主な社会活動

### (1) 他機関での講義等

- 奈良文化女子短期大学非常勤講師 (1991~1995年度)
- 種智院大学非常勤講師 (2000年度)
- 大谷大学文学部非常勤講師 (2002~2005年度)
- 大阪大学大学院文学研究科非常勤講師 (2002年度)
- 花園大学文学部非常勤講師 (2003~2010年度)
- 京都大学大学院文学研究科非常勤講師 (2004~2009年度)
- 京都大学人文科学研究所非常勤講師 (2005年4月~2009年9月)
- 天理大学国際文化学部非常勤講師 (2006~2007年度)
- 大阪大学外国語学部・大学院言語文化研究科非常勤講師 (2007~2009年度)
- 京都外国語大学・大学院非常勤講師 (2009~2011年度)

### (2) 学会活動等

- 日本印度学仏教学会 (1991~)
- インド思想史学会 (1993~, 学会事務局幹事2009.12~2012.3)
- American Oriental Society (1996~)
- 日本南アジア学会 (2003~, 学会誌編集担当幹事2002.10~2003.9)  
(幹事等)
- 第2回国際ヴェーダ学ワークショップ実行委員会幹事 (1999)
- 第14回国際サンスクリット学会事務局幹事 (2009)